

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、次のとおり公表します。

## 【学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	読谷村立古堅南小学校 (2号棟)	中頭郡読谷村字古堅612-1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.21 CTU・SD=0.66	—	—	用途指標U=1.25として診断
2	北谷町立桑江中学校	中頭郡北谷町字美浜1丁目4番地7	中学校	—	—	—	—	
	1号棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.582 CTU・SD=0.32	耐震改修	平成30年7月 ～平成31年1月	用途指標U=1.25として診断
	10号棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.535 CTU・SD=0.30	耐震改修	平成30年7月 ～平成31年1月	用途指標U=1.25として診断
	11号棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.245 CTU・SD=0.32	—	—	用途指標U=1.25として診断

【病院、診療所】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	医療法人博寿会 もとぶ記念病院	国頭郡本部町字石川972番地	病院	—	—	—	—	
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.565 CTU・SD=0.330	建替え	平成29年度 ～平成31年度	用途指標U=1.25 として診断
	中央病棟				Is/Iso=1.167 CTU・SD=0.809	—	—	用途指標U=1.25 として診断
	南病棟				Is/Iso=2.394 CTU・SD=1.664	—	—	用途指標U=1.25 として診断
2	とよみ生協病院	豊見城市字真玉橋593番地1号	病院	—	—	—	—	
	診療病棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.119 CTU・SD=0.30	建替え	平成35年4月 ～平成36年10月	
	塔屋				Is/Iso=0.428 CTU・SD=0.18	建替え	平成35年4月 ～平成36年10月	
	施設棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	Is=0.24 q=0.97	建替え	平成35年4月 ～平成36年10月	
	ICU棟				Is=0.55 q=1.84	建替え	平成35年4月 ～平成36年10月	

【病院、診療所】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
3	社会医療法人友愛会 南部病院	糸満市字真栄里870番地	病院	—	—	—	—	
	①棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.606 CTU・SD=0.380	未定	未定	地域指標Z=1.0 として診断
	②棟				Is/Iso=1.590 CTU・SD=1.000	—	—	地域指標Z=1.0 として診断
	③棟				Is/Iso=0.685 CTU・SD=0.430	未定	未定	地域指標Z=1.0 として診断
	④棟				Is/Iso=3.580 CTU・SD=2.260	—	—	地域指標Z=1.0 として診断
4	県立八重山病院 東病棟	石垣市字大川732	病院	—	—	—	—	
	東病棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.01 CTU・SD=0.665	—	—	用途指標U=1.5 として診断
	こころ病棟				Is/Iso=1.27 CTU・SD=0.465	—	—	用途指標U=1.5 として診断

【ホテル、旅館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	センチュリオンホテルリゾート ヴィンテージ沖縄美ら海	国頭郡本部町字石川礎摩原 938番1他	ホテル	—	—	—	—	
	A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.48 CTU・SD=0.90	—	—	地域指標Z=1.0 として診断
	B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.16 CTU・SD=0.73	—	—	地域指標Z=1.0 として診断
	C棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.46 CTU・SD=0.89	—	—	地域指標Z=1.0 として診断
2	ホテルムーンビーチ	国頭郡恩納村字前兼久1203	ホテル	—	—	—	—	
	1工区			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	耐震改修工事中	耐震改修	平成29年3月 ～平成33年12月	
	2工区			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	耐震改修工事中	耐震改修	平成29年3月 ～平成33年12月	
	3工区			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	耐震改修工事中	耐震改修	平成29年3月 ～平成33年12月	
	4工区			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	耐震改修工事中	耐震改修	平成29年3月 ～平成33年12月	
	5工区			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	耐震改修工事中	耐震改修	平成29年3月 ～平成33年12月	
	6工区			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	耐震改修工事中	耐震改修	平成29年3月 ～平成33年12月	

【ホテル、旅館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
3	ホテルみゆきビーチ本館	国頭郡恩納村字安富祖1583番地2	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	—	—	—	—
	A棟				Is/Iso=0.22 CTU・SD=0.11	建替え	平成30年10月 ～平成32年8月	
	B棟				Is/Iso=0.56 CTU・SD=0.29	建替え	平成30年10月 ～平成32年8月	
	C棟				Is/Iso=1.03 CTU・SD=0.52	—	—	
4	EMウェルネスリゾートコストタビスタ沖縄	中頭郡北中城村字喜舎場1478	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	—	—	—	—
	A棟				Is/Iso=0.16 CTU・SD=0.10	耐震改修	平成30年3月 ～平成31年3月	
	B1棟				Is/Iso=0.09 CTU・SD=0.02	耐震改修	平成30年3月 ～平成31年3月	
	B2棟				Is/Iso=0.37 CTU・SD=0.22	耐震改修	平成30年3月 ～平成31年3月	
	C棟				Is/Iso=4.8 CTU・SD=2.89	—	平成30年3月 ～平成31年3月	
	増築棟				Is/Iso=0.35 CTU・SD=0.21	耐震改修	平成30年3月 ～平成31年3月	
5	ホテルグランビュー石垣	石垣市登野城1番地	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.00 CTU・SD=0.25	—	—	—

【保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	名護市役所本庁舎	名護市港一丁目1番1号	市役所	—	—	—	—	
	西棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)	Is/Iso=0.80 CTU・SD=0.23	未定	未定	用途指標U=1.5として診断
	東棟				Is/Iso=0.30 CTU・SD=0.08	未定	未定	用途指標U=1.5として診断
	別棟				Is/Iso=0.51 CTU・SD=0.15	未定	未定	用途指標U=1.5として診断

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I	II	III
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)		$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)		$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$

- I. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※ 「震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる恐れは少なく、倒壊するおそれはない。」とされている。

※ 特記が無い限り、 $Z=0.7$ 、 $R_t=1.0$ 、 $G=1.0$ 、 $U=1.0$ とする。

Z: 地域指標で、その地域の地震活動や想定する地震動の強さによる補正係数

$R_t$ : 振動特性係数で、地盤種別ごとに、建物の固有周期に対して、入力地震による建物の層せん断力を低減させる補正係数

G: 地盤指標で、表層地盤の増幅特性、地形効果、地盤と建物の相互作用などによる補正係数

U: 用途指標で、建物の用途などによる補正係数